



日本共産党 いぬい紳一郎の 市政だより

流山市議会議員

2015.9.17 NO.66

9月議会一般質問 議場にピンと張り詰める

緊張、厳しい質問に答弁できず立ち往生も・・・

私は、9月10日議会本会議で共産党市議団最後に登壇しました。質問のポイントをお伝えします。

1、 国会審議でボロボロになった「戦争法案」は廃案へ。強行採決は許さないと主張。

「邦人保護の米戦艦を守る」「ホルムズ海峡の機雷掃海」など、安倍首相が集团的自衛権行使の代表例として説明してきた理屈が破たんし、9割を超える憲法学者、元最高裁長官までもが「違憲」とする「戦争法案」、国民の民意に従うならば「廃案」しかない。自民・公明は強行採決も辞さないとしているが市長はどう考えるのかと質問しました。

2、 介護保険2割負担、利用者の深刻な実態をしめし、負担の軽減を求める

介護保険の質問では、8月からの利用料引き上げの問題を取り上げました。どんな状況が生まれているのか把握していない市当局に対し、「夫の特養ホームの入所費用が月17万円から20万円以上になり夫婦の年金の残りは約100万円。税金、高齢者医療保険料、介護保険料を払い、妻にはわずかな生活費しか残らない。これで生活できると考えているのか」と迫りました。限度額を超える利用料が償還払いで戻される「高額介護サービス費」について、現物給付を取り入れるよう提案しました。

3、 今、国保料の引き上げはやるべきではないと主張

国保料の引き上げ計画に対して、「政府の国保制度改革で、今年度1700億円がH30年度1700億円合計3400億円が国保財政の支援拡充に追加される。現在、実施しているパブリックコメントに、こうした説明が一切なされていない。政府の財政支援を活用し京都市などが今年国保料を引き下げた。国も一人当たり5000円の財政効果があるとしている中で、保険料引き上げはやめるべきだ。」と主張。市長に対し、「市の一般会計からの繰入金金を減らすための保険料引き上げとはトップの姿勢が問われる」と迫りました。

「流山民報」号外 発行：日本共産党いぬい紳一郎事務所

問い合わせ・連絡先 04-7150-6099 流山市議会事務局（政務活動費使用のルールが変更され、市議への直接の連絡先を表記できなくなりました。日本共産党は是正を求めています。）



流山でも草の根の集会・デモが…、「憲法壊すな・戦争させ るな、9.12つどいandパレード」に150名参加



おおたかの森駅での宣伝・署名活動を広げてきた「憲法壊すな・戦争させるな流山連絡会」が呼びかけた「戦争法案反対」集会がおおたかの森センターでおこなわれました。集会では、隅野隆徳専修大名誉教授のあいさつ、宗みなえ弁護士のミニ講演、青年、戦争体験者、病院看護師などがスピーチを行いました。また、私と民主党藤井市議がスピーチ、社民党阿部市議と無所属近藤市議のメッセージが紹介されました。集会後、約150人でおおたかの森駅南口

広場までパレードしました。全国各地で「戦争法案絶対廃案」の集会・デモが様々な規模で繰り広げられています。流山でも、「安倍政治を許さない」市民の声をさらに大きく広げましょう。

9.14国会デモに参加しました

14日（月）出発前に南流山駅で30分間宣伝し、4万5千人以上が集まった国会デモに、地域のみなさんと参加しました。国会近くの桜田門駅出口が封鎖、さらに、国会前に向かう信号も警官隊の過剰警備で渡れません。横断歩道を前に足止めされている群衆が「通せ！通せ！」とコールすること約30分、ようやく信号をわたって国会前に。すでに、警察の封じ込めラインが決壊して、車道に数万人の人々が「戦争法案絶対廃案」「安倍はやめろ」とコールしていました。国民の怒りが噴き出していると強く感じました。



民主主義を取り戻せ！
戦争させるな！

**SMASH
FASCISM!
ABE OUT!**

1002

安倍政権NO!★大行進

2015.10.2 FRIDAY

原発
安保法制
憲法
沖縄米軍基地
秘密保護法
TPP
消費税増税
社会保障
雇用・労働法制
農業・農協改革
ヘイトスピーチ
教育

【主催】
安倍政権NO!実行委員会
【事務局】
首都圏反原発連合
原発をなくす全国連絡会
PARC NPO法人アジア太平洋資料センター

18:30-19:15 集会 + **19:15 巨大デモ出発**
日比谷野音(大音楽堂) + 新橋・銀座大規模デモ

PEOPLE
HAVE THE
Power